



9月1日は「防災の日」

自らの命を守るために、日頃から十分な備えを

9月1日は関東大震災が発生した日で、台風シーズンを迎えることから「防災の日」とされています。毎年この季節には台風が多発します。日頃から災害に備えましょう。詳しくは危機管理室 ☎(740) 1145 へ。

【かわにし安心ネットなどの活用】地震、台風などの自然災害から身を守るため、日頃から気象情報に注意し、家族で避難場所や避難ルート、非常時の持出品・備蓄品の確認、お互いの連絡方法などを決めておきましょう。平常時の備えが、万が一の際に自分自身と家族の命を守ります。また、警報、特別警報などの気象情報や、市が発令する避難勧告などの緊急情報を、事前に登録したメールアドレス先に配信する、かわにし安心ネットにも登録を。登録方法について、詳しくは市ホームページ（サイト内検索でID番号 K1329 を入力）か、危機管理室へ。

【避難所についてのお知らせ】これまでは浸水想定区域内の避難所は洪水時に使用できませんでした

が、災害対策基本法の一部改正に伴い、2階以上に避難する場合には、指定緊急避難場所（災害の危険が切迫した場合などのための避難場所）として使用できるようになりました。また、新たに次の施設・公園を指定緊急避難場所として指定しました。

東洋ゴム工業株式会社中央研究所（矢間3丁目）▷アステ市民プラザ（アステ川西6階）およびアステ川西びいぶう広場（栄町）▷平木谷池公園（大和台2丁目）▷清和台中央公園（清和台東3丁目）▷水明台第5公園（水明台4丁目）▷けやき坂中央公園（けやき坂2丁目）▷湯山台中央公園（湯山台2丁目）▷北ひばりが丘公園（南野坂2丁目）▷市民運動場（向陽台1丁目）

秋の全国交通安全運動

9月21日(日)から30日(火)まで

高齢者の交通事故防止を運動の基本とするほか、①夕暮れ時と夜間の歩行中・自転車乗用中の交通事故防止②すべての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底③飲酒運転の根絶④早めのライト点灯の推進一を運動の重点とします。

また、9月30日は「交通事故死ゼロをめざす日」

県住宅再建共済制度（フェニックス共済）のご案内

9月1日(月)、10月6日(月)、11月4日(火)、12月1日(月)、いずれも午前10時から午後4時まで市役所1階市民ギャラリーで、フェニックス共済の説明と申し込みの受け付けを行います。同共済は年額5,000円で、半壊・全壊住宅の再建、購入時に最大600万円の給付を受けることができます。

県内に家を所有しているか県内居住者が対象で、①地震保険や他の共済に加入していても加入・給付可②住宅の築年数や構造・規模などとは関係なく定額負担・定額給付③あらゆる自然災害が対象一となっているのが大きな特徴です。

8月からは、一部損壊特約も始まりました。加入には印鑑、口座番号が必要。詳しくは（公財）県住宅再建共済基金 ☎0797（83）3122 へ。

ひょうご防災リーダー講座 費用の一部を助成します



市では、「防災士」として地域で活躍する人たちを増やすために、県が開催する「ひょうご防災リーダー講座」を受講して、防災士登録を行った市民に対して、受講費用の一部を助成します。

同講座は、県広域防災センターで9月末から27年3月まで12回開かれ、防災に関する基礎知識や体験学習、図上訓練などが行われます。助成希望者は9月19日(金)までに危機管理室へ申し込みを。定員は先着10人。ただし、県の講座定員を超えた場合は、助成申し込み後であっても受講できない場合があります。詳しくは同室 ☎(740) 1145 へ。

上半期の消防統計まとまる

救急、救助件数が減少

上半期（1～6月）の消防統計がまとまりました。火災・救急・救助活動の概要は次の通りです。詳しくは消防本部消防課 ☎(759) 9980 へ。

【火災概要】火災件数は18件で、昨年同期と増減はありません。内訳は建物火災9件（昨年同期より2件減少）、その他の火災9件（同3件増）で、「風呂かまど」、「ストーブ」、「マッチ・ライター」などが1件と続いています。建物の焼損床面積は144平方メートル（昨年同期より11平方メートル減）、損害額は143万6千700円（同319万5千円減）となっています。また火災による死者はなく、負傷者は4人で、11世帯29人が被災しています。

【救急概要】救急出場件数は3681件で、昨年同期より96件減少し、1日当たり20・3件です。内訳は急病が2312件（62・8%）、一般負傷674件（18・3%）、交通事故314件（8.5%）、転院搬送230件（6.3%）、その他が151件（4.1%）です。また搬送された傷病者は3228人で、軽症（入院加



「QQひろば」で 応急手当を体験しよう

ボクも登場するよ

9月9日(火)は「救急の日」、7日(日)～13日(土)は「救急医療週間」です。救急医療と救急業務に対する正しい理解と認識を深めるために、消防本部が7日午前10時～午後3時にアステ川西びいぶう広場で「QQひろば」を開催します。会場ではおとなや子どもに対する心肺蘇生法やAEDの体験、塗り絵コーナー、ミニゲーム、ちびっ子QQ隊員撮影会、風船の配布などが行われます。きんたくん、きんすけくんも応援に登場。詳しくは消防本部消防課 ☎(759) 9980 へ。



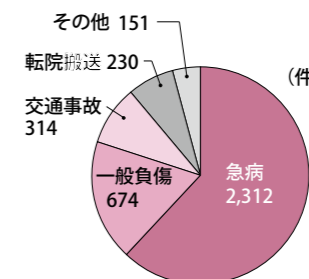
療を必要としないもの）が1745人（54・1%）、中等症（3週間未満の入院加療を必要とするもの）が1333人（41・3%）、重症（3週間以上の入院加療を必要とするもの）が111人（3.4%）、死亡が39人（1.2%）です。そのうち65歳以上の高齢者は1990人で全体の61・6%を占めています。

【救助概要】救助出場件数は46件で、昨年同期より3件減少しました。救助人員は24人で昨年同期より3人増加しています。内訳は、「建物等による事故」13件、「交通事故」13件、「機械による事故」2件、「火災出場」1件、「ガス及び酸欠事故」1件、「その他の事故」16件です。

26年の火災発生件数と25年との比較（上半期）

火災種別	26年	25年	増減
建物	9件	11件	-2
林野	0件	1件	-1
車両	0件	0件	0
その他	9件	6件	3
合計	18件	18件	0

救急出場件数の内訳



傷病程度別搬送状況

